

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第138日

英語版はソフィア・オリーニックさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。  
日本語版はダリヤ・ゴリナさんたちによって翻訳されました。

攻撃を受けている都市 ハルキウは多連装ロケットシステムで砲撃されました。16歳の子供を含む31人が負傷し、3人が死亡しました。7月11日、ロシアはオデーサ州で7発のミサイルを発射した。港湾インフラ、そしていくつかの畑は破壊を受けましたが、死傷者はいませんでした。ウクライナの国境警備隊によれば、ロシアは7月11日、スームィとチェルニーヒウのウクライナ国境地域を再び迫撃砲と大砲で砲撃しました。国境地域で80回の爆発が記録されました。7月12日の朝、ロシア軍は再びムィコラーイウを攻撃し、破壊と火災を引き起こしました。

ドネツク州のチャシウ・ヤルでの死亡者数は33人に増えました。ウクライナ国家緊急事態省は、7月11日に犠牲者(約9歳の子供)の遺体を回収したと報告しました。救助活動は継続されます。

人権 月曜日、ロシアのプーチン大統領は、パスポートタイゼーションとしても知られるロシアの帰化プロセスをウクライナのすべての市民に拡大する法令に署名しました。以前は、ロシア市民権を取得するための簡略化された手順は、ウクライナ東部の自称『ルハンシク人民共和国』と『ドネツク人民共和国』の居住者にのみ適用されていました。

地元の人口の80%がドネツク州を去りました。それにもかかわらず、地元の人口の約34万人(または20.4%)がドネツク州に残っており、他のすべての人々はすでに安全な場所に避難しました。

ウクライナでは、7000人以上の軍人が行方不明と見なされており、そのほとんどがロシアの捕虜になっています。ウクライナの特別な状況で行方不明者のための委員は「彼らがロシアに連れて行かれたことを知っています。まず、人数を理解する必要があります。接触はまだないので、彼らは行方不明と見なされます。彼らは交換リストに載り、家に帰ります。」と言います。

毎年恒例の「子供と武力紛争」の報告書では、戦争犯罪と子供に対する暴力が行われている国のリストにウクライナが含まれていました。7月3日、国連人権高等弁務官ミシェル・バチレは335人の子供を含む4889人の民間人がウクライナで殺害されたと述べ、実際の数字ははるかに高い可能性があるかと強調しました。

外交政策。ウクライナのG7諸国の大使は、ウクライナの腐敗防止機関を強化するためには、腐敗防止専門検察庁(SAPO)長の適時の指名が非常に重要であると繰り返し述べました。SAPOオフィスの責任者の任命は、ヨーロッパのさらなる統合のための重要な要件の1つです。

オランダの首相であるマーク・ルッテは、実際の訪問でウクライナに到着し、キフとイルピンを訪問しました。オランダの首相は、ウクライナが欧州連合の加盟候補国の地位を取得することの重要性を強調した、と声明は述べています。また、彼によると、重要な問題は戦後のウクライナの再建であり、これは最近のルガーノ(スイス)でのウクライナ復興会議で詳細に議論されました。さらに、マーク・ルッテは、ロシアによる黒海港の封鎖によりウクライナの農産物の輸出が停止するという問題を解決することの重要性を強調しました。

ゼレンシキ大統領は、ヴェルホーヴナ・ラーダに、「ウクライナの領土におけるポーランド共和国の市民のための法的および社会的保証の確立に関する」法案を提出しました。ロシアによる本格的な武力侵略に直面し、互惠の原則を考慮に入れて、ウクライナの連帯と支援に対するポーランドの人々への感謝のしるしとして、法案はポーランド市民の権利と保証の確立を規定しています。ポーランド共和国の法律で確立されたものと同様のウクライナに住んでいます。法案の提出は、ヴォリンの悲劇の記念と一致しています。国家主席の主導で作成された法案は、特に、ポーランド国民とその家族に、法の採択日から18か月間ウクライナの領土に合法的に滞在する可能性を認めることを想定しています。ポーランド人はまた、雇用、経済活動、教育機関での研究、ウクライナの領土での医療、およびウクライナの法律に従って社会的利益を分離する権利を受け取ります。

ウクライナ国防連絡グループ(UDCG)の次の会議は7月20日にオンラインに開催され、ロイド・オーシン国防相とオルケキイ・レズニコフ国防相が話し合います。電話での会話を通じて、カウンターパートは、UDCG形式で米国と同盟国のウクライナへの支援の将来について意見を交換しました

制裁。欧州連合は、今後数週間でロシアに対する制裁の新しいパッケージを発表する予定である、とブルームバーグは報告します。当局によると、今回の制限は金の輸入に影響を及ぼし、以前に課された制裁措置が明確にされ、個人および法人のリストが更新されます。一方、リトアニアは、その領土を通過するカリニングラードへの商品の輸送に関する制限を拡大しました。セメント、アルコール、その他多くのロシア製製品の輸送は禁止されます。

ベラルーシ ベラルーシのルカシェンコ大統領は、ベラルーシ軍がウクライナでの作戦に直接軍事関与する危険を冒すことなく、ベラルーシの空域へのアクセスをロシア軍に許可し続け、ロシアのプーチンに少なくとも名目上の支援を示す可能性が高いと戦争研究所は報告しています。

以前、ベラルーシは10月7日までウクライナ近くの空域を閉鎖しました。これは、ベラルーシから発射されたミサイル攻撃の脅威がかなり高いままであることを意味します。

食糧安全保障 トルコのエルドアン大統領は、プーチン大統領への電話で「穀物回廊」を呼びかけました。ウォロディミル・ゼレンスキーと話した後、エルドアン大統領は、ウクライナに平和が訪れることを望んでいると強調し、トルコはウクライナの穀物製品を世界市場に供給するために国連が策定した計画に引き続き取り組んでいると述べました。

サイバーセキュリティ ロシアのハッカーは、サイバー攻撃の定期的な試みを進めています。ウクライナ国家特殊通信庁の政府コンピュータ緊急対応チームは、危険な電子メールの大量配布について警告しています。このメールは、ウクライナの国家機関の侵害された電子メールアドレスからのものであり、「2022年2月24日以降のウクライナの人道的大惨事」というタイトルのXLS文書の形式の添付ファイルが含まれています。当局は、電子メールの開封はコンピューターの損傷につながると述べています。

#### 読書コーナー

- [Can the Future be predicted? Deliberations on a war we cannot afford | Cadmus](#)
- ['Locals Should Know What to Expect from Russians': Three Stories of Ukrainians Who Suffered from Aggressive Actions Abroad Because of Their Nationality | Zaborona](#)

#### 総計情報

- 1400社のうち約900社がロシアでの事業を停止しました。多くの中国企業がロシアに残り、米国から約30社、フランス、ドイツ、日本、イタリア、その他の国からの企業もあります。世界的に有名なブランドの中にはLeroy Merlin、Auchan、MaryKayです。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年7月12日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約37,470人、戦車1649台、装甲戦闘車両(APV)3,829台、砲兵システム838台、多連装ロケットシステム(MLRS) 247台、対空戦システム109台、固定翼航空機 217台、ヘリコプター 187台、軽装甲車2,699台、ボートおよび軽装ボート15台、運用戦術レベルUAV676台、特殊装備66台、移動式短距離弾道ミサイルシステム155台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- ムイコラーイウに拠点を置く[「Rebel Volunteers」](#)を支援してください。「Rebel Volunteers」は、ムイコラーイウにある救急病院、小児病院、その他の医療施設の外傷部門や救急治療室でボランティア活動しています。ボランティアグループは、ムイコラーイウ動物園を支援し、動物の権利活動家と協力しています。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！